

2020. 4

# 中央調査報

(主な内容)

- 「議員、官僚、大企業、警察等の信頼感」調査 調査結果の概要 ..... 1
- 告知板..... 8

## 「議員、官僚、大企業、警察等の信頼感」調査 調査結果の概要

世論調査、市場調査の専門機関である一般社団法人 中央調査社(会長 大室 真生)は、「国会議員」「官僚」「裁判官」「マスコミ」「銀行」「大企業」「医療機関」「警察」「自衛隊」「教師」の信頼感に関する意識調査を実施しました。調査は、2019年10月4日から14日にかけて、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行い、1,204人から回答を得ました。主な調査結果は以下のとおりです。

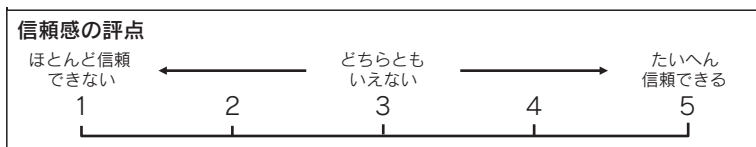
なお、この調査は、2000年3月、2001年12月、2004年5月、2007年7月、2008年8月、2009年12月、2012年5月、2015年9月、2017年10月にも実施しており、今回が10回目となります。

### 1. 信頼感

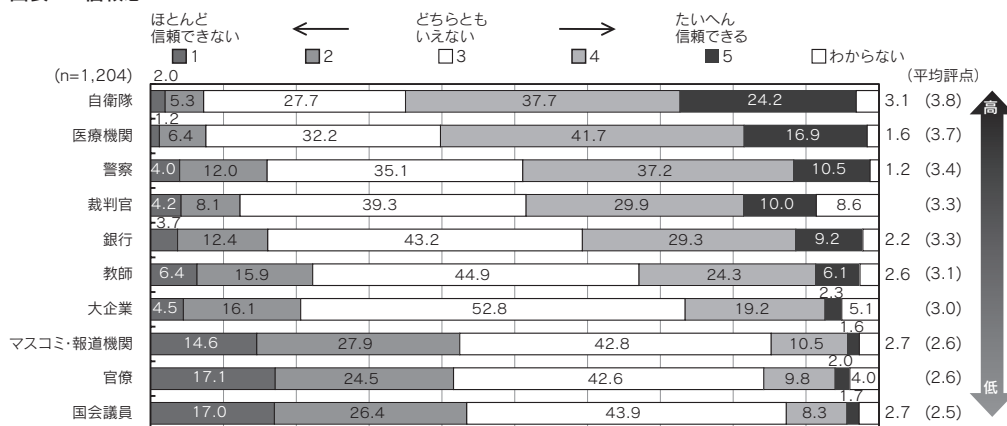
国会議員、官僚、裁判官、マスコミ、銀行、大企業、医療機関、警察、自衛隊、教師に対する信頼感を、「ほとんど信頼できない」の評点「1」から「たいへん信頼できる」の評点「5」の5段階

で評価してもらった。

平均評点が高かったのは、自衛隊(3.8)と医療機関(3.7)である。自衛隊と医療機関ともに前々回の調査(2015年9月)から上昇傾向となっていて、前回調査から0.1ポイント上昇し過去



図表1 信頼感



最高の評点となった。続いて警察(3.4)、裁判官と銀行(ともに3.3)、教師(3.1)、大企業(3.0)となっているが、警察が前回調査から変わらない一方で、裁判官、銀行、教師は0.2ポイント、大企業は0.1ポイント、いずれも前回調査から下落した。

マスコミ・報道機関と官僚(ともに2.6)、国会議員(2.5)は、いずれも前回調査から変動なく、3ポイントを下回り信頼できないとの評点となった。ただし、官僚と国会議員は、前回調査から引き続き過去最高となっている。(図表1,2)

性別で平均評点を比較してみると、全項目とも性別に大きな差はないが、官僚(男性2.6、女性2.5)、裁判官(男性3.4、女性3.3)、医療機関(男性3.7、女性3.6)、自衛隊(男性3.8、女性3.7)で、いずれも男性の方が女性より0.1ポイント高い。国会議員、マスコミ・報道機関、銀行、大企業、警察、教師では男女間の差は見られなかった。(図表3)

年代別で平均評点を比較したところ、大企業は、若年層で平均評点が高く、高齢層ほど平均評点が低くなっている。一方、マスコミ・報道機関は若年層の平均評点が低く、高齢層ほど平均評点が高くなっているほか、警察も30代以下の若年層で平均評点が低い。マスコミ・報道機関の平均評点を時系列でみてみると、最も高かったのは70歳以上(2.8)で、前回から横ばいとなった。次に高かったのは60代と50代(ともに2.6)だが、60代は前回から0.3ポイント下落している。20代(2.3)、30代(2.4)の若年層も下落して過去最低に並ぶ評点となっている。40代(2.5)は唯一、前回から平均評点が上昇した。(図表

#### 4,5,6)

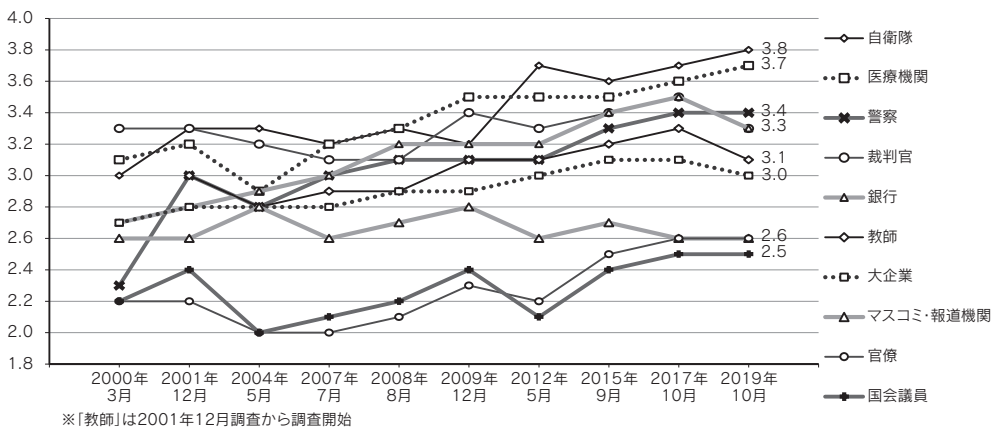
次に、信頼できないとする「1」や「2」の評点を「信頼できない(計)」とし、その割合を見ると、全体では、国会議員が43.4%、マスコミ・報道機関が42.5%、官僚が41.6%などとなっている。さらに、これらを年代別で見ると、国会議員では30代(52.5%)が最も高く、次いで60代(45.3%)、50代(44.9%)、20代(44.7%)、40代(42.4%)70歳以上(37.9%)となっている。次に、マスコミ・報道機関では20代(57.2%)が最も高く、約6割が信頼できないとする一方、年代が上がるにつれて低くなり、70歳以上(36.4%)が最も低い。そして、官僚では30代(50.4%)が最も高く約半数にのぼっており、次いで60代(45.3%)が2番目に高く、そのほか50代(39.7%)、40代(39.3%)、70歳以上(39.1%)、20代(39.0%)と4割弱で並んでいる。(図表7,8)

## 2. 信頼されるよう努力してほしい機関・団体

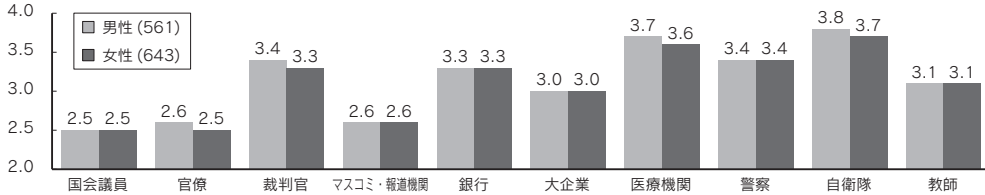
「国民に信頼されるよう努力してほしい」機関・団体については、国会議員を1番目に挙げた人が半数を超えて60.7%で最も高くなった。次いで、官僚(7.3%)、教師(6.8%)、マスコミ・報道機関(6.6%)、医療機関(5.1%)、警察(4.4%)、裁判官(1.4%)、大企業(1.3%)、自衛隊(0.7%)、銀行(0.5%)となっている。国会議員が突出して高くなっており、多くの人から信頼獲得を望まれていることが、端的に表れている。

信頼されるよう努力してほしい機関・団体を3番目まで挙げてもらった合計で見た場合も国会議員(80.6%)が最も高く、次いで、官僚(46.1%)、

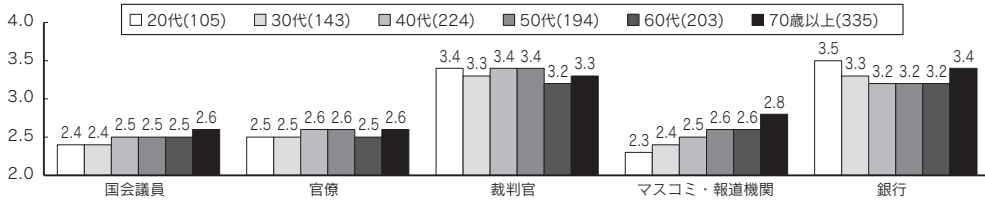
図表2 信頼感：平均評点の推移



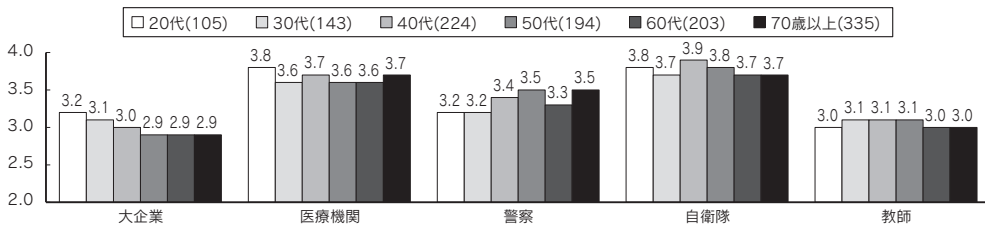
図表3 信頼感：平均評点【性別】



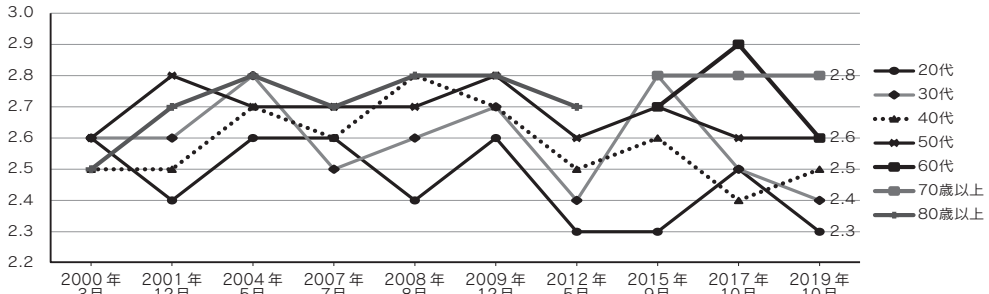
図表4 信頼感：平均評点【年代別】①



図表5 信頼感：平均評点【年代別】②

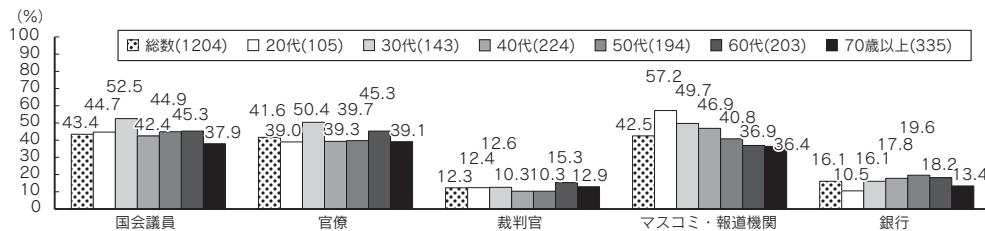


図表6 信頼感：マスコミ・報道機関の平均評点の推移【年代別】

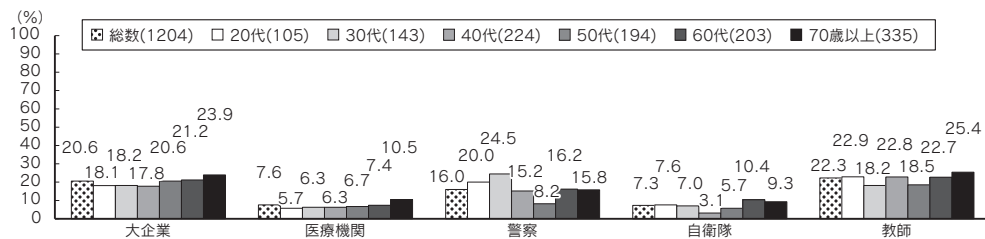


※2012年調査まで「60歳以上」としていた区分を、2015年調査から「60代」と「70歳以上」に分けて集計している

図表7 信頼できない(計)【年代別】①



図表8 信頼できない(計)【年代別】②



警察(33.2%)、マスコミ・報道機関(32.6%)、教師(32.0%)、医療機関(21.3%)、大企業(11.4%)、裁判官(7.0%)、銀行(5.0%)、自衛隊(4.9%)の順となっている。(図表9,10,11)

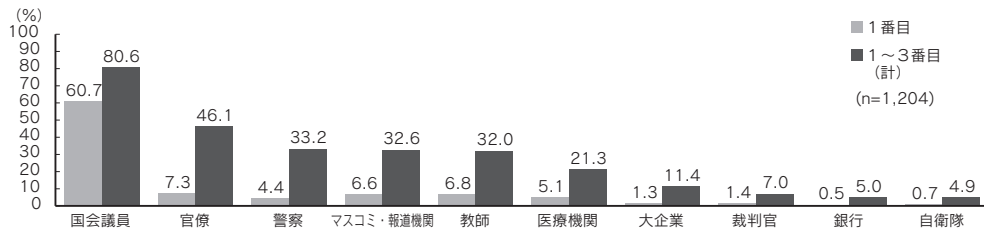
回答結果を時系列でみると、国会議員を1番目に挙げた人は、前回(65.3%)から4.6ポイント下落したものの、2009年から現在まで6割以上を維持、1~3番目の合計でも2009年以降は8割以上を維持しており、すべての項目の中で群を抜いている。そのほかの項目を1~3番目の合計でみると、教師(32.0%)が前回(20.1%)から11.9ポイント上昇。一方、警察(33.2%)は前回(40.7%)から7.5ポイント下落した。

次に、性別で各項目を比較してみると、1番目に挙げた項目では、国会議員(男性57.8%、女性63.3%)は女性の方が男性より5.5ポイント高く、女性からより強く努力することを望まれている。一方、マスコミ・報道機関(男性8.4%、女性5.1%)では3.3ポイント、警察(男性5.9%、女性3.1%)では2.8ポイント、それぞれ男性の方が女性より高くなっている。1~3番目の合

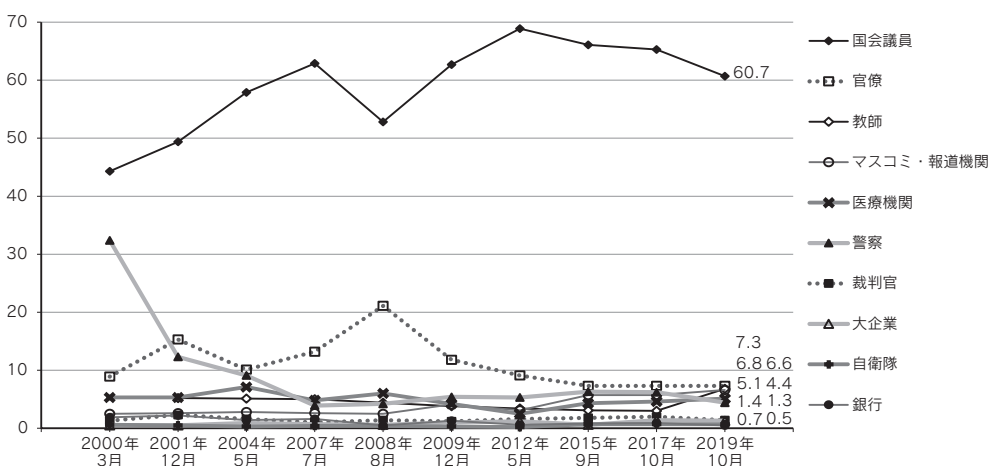
計について見ると、マスコミ・報道機関(男性37.1%、女性28.6%)では8.5ポイント、大企業(男性13.4%、女性9.6%)では3.8ポイント、官僚(男性48.0%、女性44.5%)では3.5ポイント、自衛隊(男性6.6%、女性3.4%)では3.2ポイント、銀行(男性6.6%、女性3.6%)では3.0ポイント、それぞれ女性よりも男性の方が高く、男性からより強く努力することを望まれている。一方、警察(男性29.9%、女性36.1%)では6.2ポイント、医療機関(男性18.2%、女性24.0%)では5.8ポイント、教師(男性29.6%、女性34.1%)では4.5ポイント、それぞれ女性の方が男性より高くなっている。(図表12,13)

次に、年代別で各項目を比較してみると、1番目に挙げた項目では、国会議員は20代(51.4%)を除いた各年代で6割以上となっている。官僚は30代(14.0%)が最も高く、反対に20代(3.8%)が最も低くなった。また、マスコミ・報道機関は20代(12.4%)が最も高く、年代が上がるにつれて低くなっている。教師は20代(11.4%)が最も高く、反対に30代(4.2%)が

図表9 信頼されるよう努力してほしい機関・団体

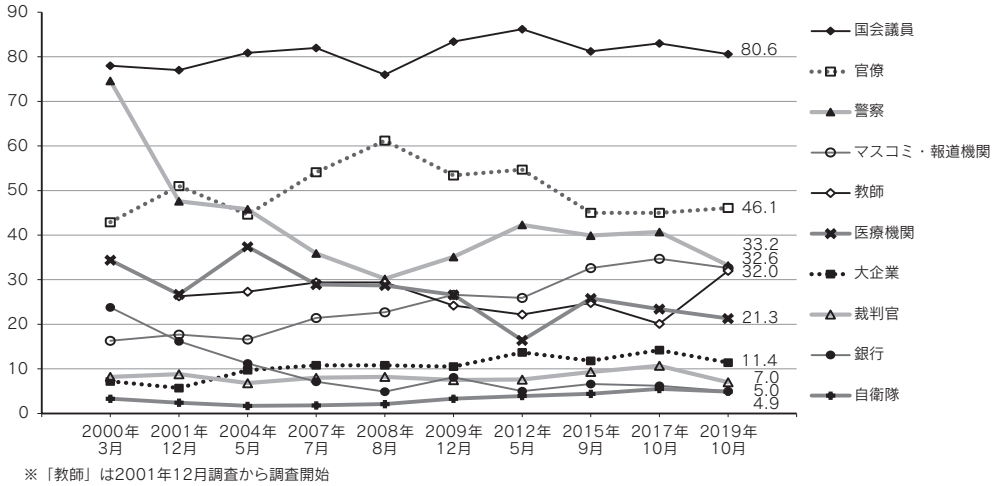


図表10 信頼されるよう努力してほしい機関・団体：1番目の推移(%)

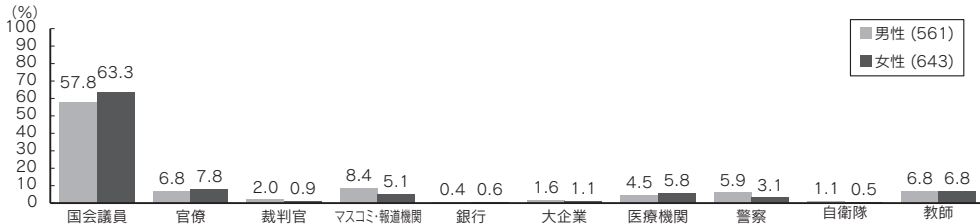


※「教師」は2001年12月調査から調査開始

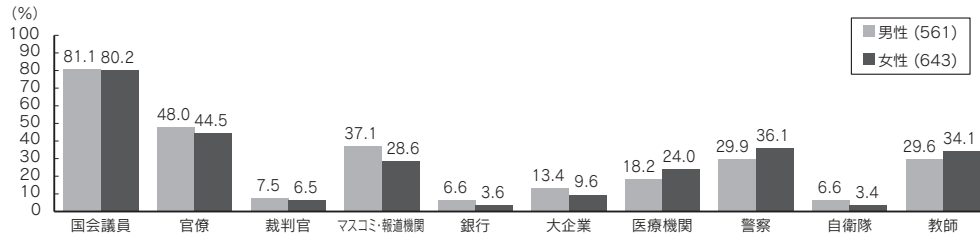
図表 11 信頼されるよう努力してほしい：1～3番目(計)の推移(%)



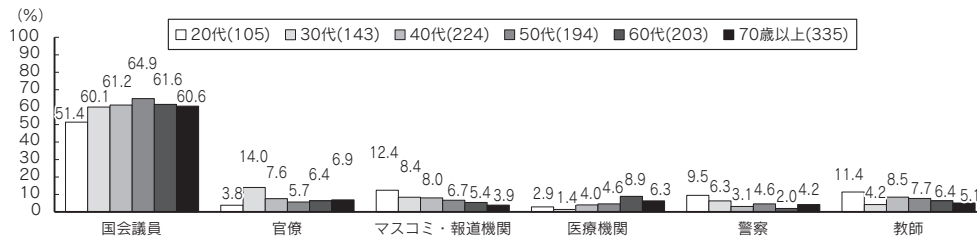
図表 12 信頼されるよう努力してほしい機関・団体：1番目【性別】



図表 13 信頼されるよう努力してほしい機関・団体：1～3番目計【性別】



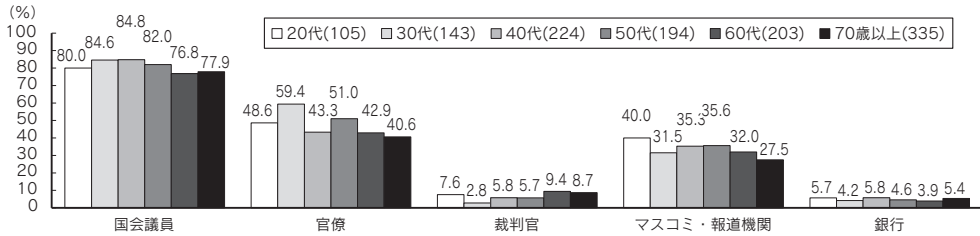
図表 14 信頼されるよう努力してほしい機関・団体：1番目【年代別】主要6項目



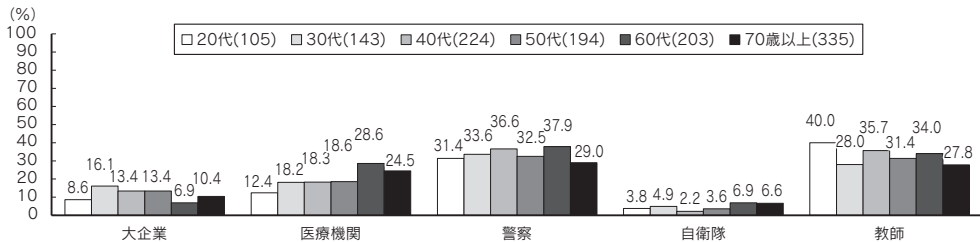
最も低くなった。1～3番目の合計では、国会議員は20代から50代で8割に達しており、やはり各年代で信頼獲得を強く望まれている。次に、マスコミ・報道機関は20代(40.0%)で最も高く、反対に70歳以上(27.5%)で最も低くなっており、20代における不信が目立っている。医

療機関は60代(28.6%)で最も高く、次いで70歳以上(24.5%)となっており、若年層よりも高齢層の方が高い。同様に自衛隊も、60代(6.9%)、70歳以上(6.6%)が他の年代よりも高い。(図表14,15,16)

図表 15 信頼されるよう努力してほしい機関・団体：1～3番目【年代別】①



図表 16 信頼されるよう努力してほしい機関・団体：1～3番目【年代別】②



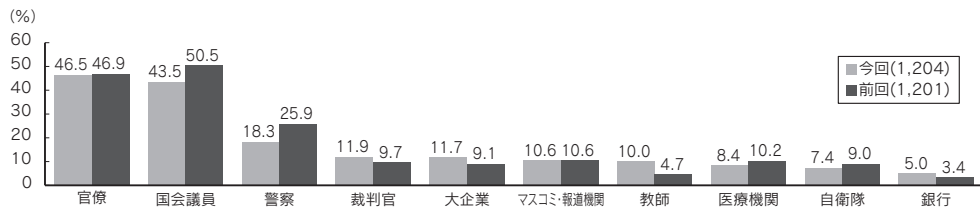
### 3. 閉鎖的な機関・団体(国民に対する情報公開)

「国民に対して閉鎖的で、情報公開が進んでいないと思う」機関・団体を2つまであげてもらったところ、官僚(46.5%)と答えた人の割合が最も高く、国会議員(43.5%)が2位となった。官僚は前回(46.9%)からほぼ横ばい、国会議員は前回(50.5%)から7.0ポイント下落したものの、他の項目より高い状況が続いている。また、3

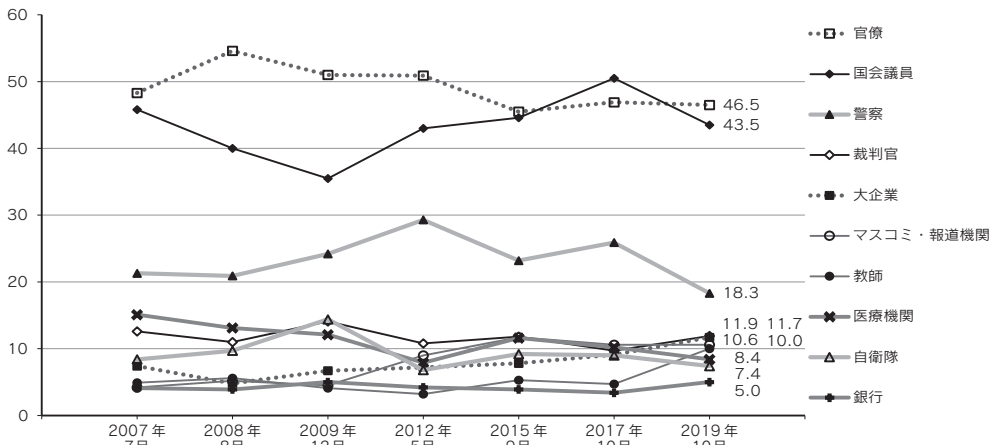
位の警察(18.3%)は前回(25.9%)から7.6ポイント下落した。以下、裁判官(11.9%)、大企業(11.7%)、マスコミ・報道機関(10.6%)、教師(10.0%)と続いており、教師は前回(4.7%)から5.3ポイント上昇した。(図表17,18)

次に、性別で各項目を比較してみると、国会議員(男性40.1%、女性46.5%)は男性より女性の方が6.4ポイント高くなった一方で、マスコミ・

図表 17 閉鎖的で情報公開が進んでいないと思う機関・団体



図表 18 閉鎖的で情報公開が進んでいないと思う機関・団体の推移(%)

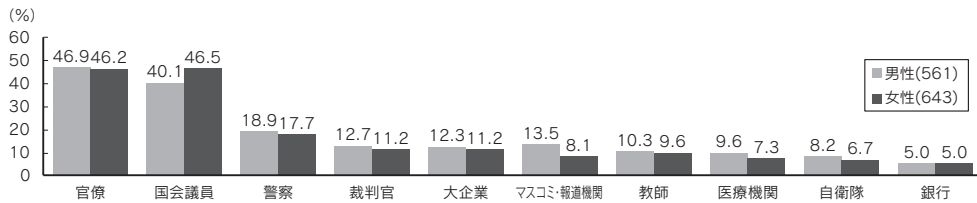


報道機関(男性13.5%、女性8.1%)は女性より男性の方が5.4ポイント高い。そのほかの項目では、性別で大きな差はみられなかった。(図表19)

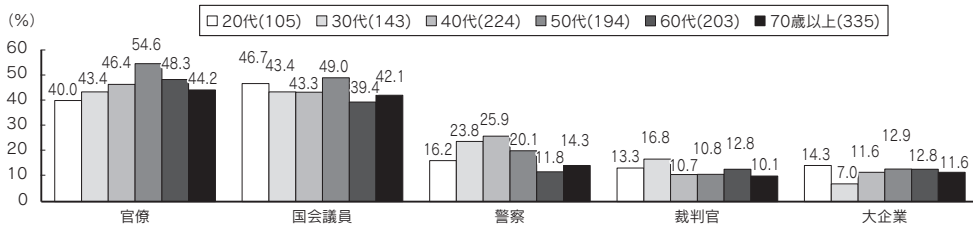
年代別で各項目を比較してみると、官僚はすべての年代で4割以上の回答となっているが、40代~60代の中高年層が高く、特に50代(54.6%)は半数を超えている。国会議員も50代(49.0%)、20代(46.7%)が半数近く、そのほかの年代も4割前後の回答率があり、官僚、国会議員は、全年代で閉鎖的で情報公開が進んでいないと思われる。一方、警察とマスコミ・

報道機関は年代によってやや回答率に差があり、警察は40代(25.9%)が最も高く、30代(23.8%)、50代(20.1%)も2割台の回答率となっているが、60代(11.8%)、70代(14.3%)の高齢層は1割台の回答となっている。また、マスコミ・報道機関は、20代(21.9%)の回答が2割を超えているのに対して、50代(5.7%)、70歳以上(6.9%)は1割に満たない。このほか、教師では、他の年代に比較して、60代(13.3%)の回答率がやや高くなっている。(図表20,21)

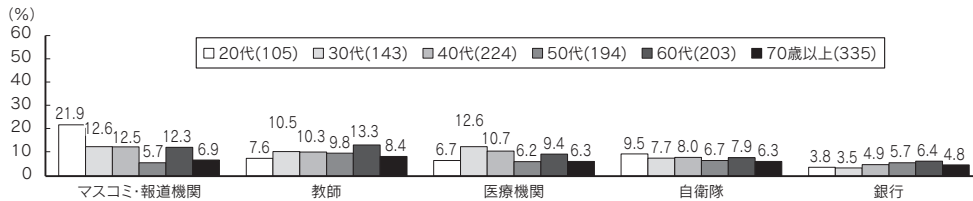
図表19 閉鎖的で情報公開が進んでいないと思われる機関・団体【性別】



図表20 閉鎖的で情報公開が進んでいないと思われる機関・団体【年代別】①



図表21 閉鎖的で情報公開が進んでいないと思われる機関・団体【年代別】②



調査の概要

- 調査地域 全国
- 調査対象 満20歳以上男女個人(4,000人)
- サンプルング法 層化三段無作為抽出法
- 調査方法 専門調査員による個別面接聴取法
- 実査時期 2019年10月4日から14日
- 調査機関 一般社団法人 中央調査社

● 回収サンプルの構成

<性別>

総数	男性	女性
1,204	561	643
100.0%	46.6%	53.4%

<年代別>

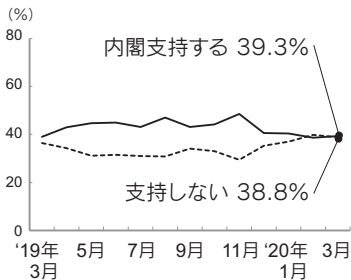
総数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,204	105	143	224	194	203	335
100.0%	8.7%	11.9%	18.6%	16.1%	16.9%	27.8%

### ◇ 告 知 板

#### 3月の時事世論調査

3月の時事世論調査によると、安倍内閣の支持率は前月比0.7ポイント増の39.3%、不支持率は1.0ポイント減の38.8%だった。

調査は全国の18歳以上の男女1,913人(新型コロナウイルス感染症の影響で北海道は除く)を対象に、個別面接聴取法で3月6日から9日に実施。有効回収(率)は1,215(63.5%)。



#### この時期の国内の動きは、

刑法犯、戦後最少を更新：2019年に警察が認知した刑法犯は前年比6万8779件減の74万8559件で、戦後最少を更新した(2月10日)。

新型ウイルスで国内初の死亡者：厚生労働省は、新型コロナウイルスに感染した神奈川県80代の日本人女性が死亡したと発表した(2月13日)。

東証4カ月ぶりの安値：新型肺炎拡大による欧米株の大幅下落の流れを引き継ぎ、日経平均株価は前週末終値からの下げ幅が一時1000円を超え、約4カ月ぶりの安値を付けた(2月25日)。

臨時休校を要請：安倍首相は、新型コロナウイルスの感染防止策として全国の小中高校などに、3月2日から春休みまで一斉休校を要請(2月27日)。

北海道で緊急事態宣言：北海道内ではこの日までに新型コロナウイルスの感染者は死者2人を含む66人となり、鈴木知事は緊急事態を宣言し、道民に週末の外出を控えるよう要請した(2月28日)。

青森沖で貨物船沈没：青森県六ヶ所村の沖合約12キロで、バリーズ船籍の貨物船が漁船と衝突して沈没。外国人の乗組員14

人のうち1人は救助されたが、13人が行方不明となった(2月29日)。

クルーズ船、全員が下船：新型コロナウイルスの集団感染が起きたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」に、最後まで残っていた乗員約130人が下船。2月3日の横浜入港時の乗客乗員は3711人だった(3月1日)。

中韓からの入国制限発動：新型コロナウイルスの流入阻止として、中国と韓国からの入国制限措置を発動した。両国発の航空機・船舶で到着した旅客に対し、2週間の待機と公共交通機関の利用自粛を要請した(3月9日)。

#### 国外では、

COVID-19:世界保健機関は、新型コロナウイルスが引き起こす肺炎の正式名称を「COVID-19」と命名。一方、同ウイルスによる中国本土の死者数はこの日までに1000人を超え、累計感染者数は約4万5000人に達した(2月11日)。

アフガン大統領再選：反政府武装勢力タリバンとの和平協議が続くアフガニスタンで、選挙管理委員会は、2019年9月に実施された大統領選の最終結果として、現職のガニ大統領が過半数を得て再選されたと発表した(2月18日)。

ドイツで銃撃、9人死亡：ドイツ西部のハーナウで、極右思想の男がバーとカフェを銃撃し、9人が死亡、6人が負傷した(2月19日)。

イラン・トルコ国境地帯でM5.7地震：イラン西部の対トルコ国境付近で発生した地震により、トルコ東部では9人が死亡、37人が負傷した(2月23日)。

米とタリバンが和平合意：米とアフガニスタンの反政府武装勢力タリバンは、カタールの首都ドーハで駐留米軍の段階的撤収などを定めた和平合意に調印した(2月29日)。

中国の隔離ホテル倒壊：中国福建省泉州市で、新型コロナウイルスの隔離施設として使われていたホテルの入る7階建てビル

が倒壊した。改装工事が原因とみられ、最終的に29人が死亡(3月7日)。

イタリアでは北部の1600万人を隔離：新型コロナウイルスの感染拡大が深刻なイタリアでは、ロンバルディア州全域および14県の封鎖を発表。ミラノやヴェネツィアも含め計1600万人の住民が影響を受けた(3月8日)。

政党支持率 自民党の支持率は前月比0.3ポイント減の24.0%。以下、立憲民主党は2.1ポイント減の3.5%、公明党は0.7ポイント増の3.5%、共産党の1.6%と日本維新の会の1.3%はともに前月と変わらず。支持政党なしは62.4%で前月より1.8ポイント増。

#### 政党支持率 (上段：3月、下段：2月)

自民党	立憲民主党	公明党	共産党	日本維新の会	社民党	れいわ新選組	日本から国民を守る党	その他	支持政党なし
24.0	3.5	0.4	3.5	1.6	1.3	0.5	0.7	0.1	62.4
24.3	5.6	0.5	2.8	1.6	1.3	0.2	0.9	0.2	60.6

国民の景気感 「良くなった」は前月より1.4ポイント減の2.2%、「悪くなった」は21.6ポイントの増加で54.7%となった。

時事世論景気指数は前月から58ポイントも減少し、17と急激に悪化した。前月比の減少幅としては2011年4月(東日本大震災発生翌月)の44ポイント減少を上回るもので、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と考えられる。

#### 時事世論景気指数

2012年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
97.2	143.8	129.1	126.0	120.0	131.9	130.0	109.9
19年 (2月)	115	114	114	117	105	111	106
(9月)	106	96	105	104	84	75	17

暮らし向き 昨年の今頃と比べて「楽になった」は前月比0.4ポイント増の5.2%、「苦しくなった」は0.5ポイント減の20.3%となった。